

2018J2 ■順位表■第36節【暫定】

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

(*は消化試合が1、#は2少ない)

1	大分	66p	+24	65	41	A●	H●
2	松本	66p	+17	50	33	H○	
# 3	町田	62p	+16	52	36	H●	A●
4	福岡	61p	+15	51	36	A●	
5	大宮	60p	+15	58	43	A○	H●
6	東京V	60p	+13	49	36	A△	H△
7	横浜FC	60p	+12	53	41	H●	A●
* 8	徳島	54p	+12	47	35	H△	A●
9	山形	51p	0	43	43	A●	
* 10	山口	51p	-2	59	61	H△	A●
11	金沢	49p	+5	45	40	H●	A●
12	岡山	49p	-1	36	37	A△	
* 13	甲府	48p	+10	51	41	H●	A○
14	水戸	47p	+1	40	39	H○	
15	千葉	45p	-2	63	65	A○	
16	栃木	45p	-8	34	42	H△	A●
17	新潟	45p	-9	42	51	H○	A●
18	愛媛	43p	-12	31	43	A○	H●
19	京都	34p	-16	35	51	A●	H●
20	岐阜	33p	-20	39	59	---	---
21	熊本	27p	-30	42	72	A○	H●
* 22	讃岐	26p	-40	25	65	A○	H●

today's guest : **ファジアーノ岡山**

2017 J2 13勝16分13敗 勝ち点55:13位

直近の対決と結果

2018/04/21
J2 - 10節 @ Cスタ

岡山 0-0 岐阜

ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	ファジアーノ岡山
2018/10/07 J2 - 36節 @ 下関 山口 4-1 岐阜	2018/10/06 J2 - 36節 @ レベスタ 福岡 1-1 岡山
2018/09/30 J2 - 35節 @ 石川西部 金沢 2-0 岐阜	2018/09/29 J2 - 35節 @ Cスタ 岡山 1-2 新潟
2018/09/23 J2 - 34節 @ 長良川 岐阜 1-1 東京V	2018/09/01 J2 - 34節 @ 中銀スタ 甲府 2-0 岡山

●負の連鎖が、なかなか断ち切れないFC岐阜。9/23(日)第34節・ホーム東京V戦は、前半に#14 風間宏矢が待望の先制点を挙げたが、後半にわずかな隙を突かれて同点に追いつかれ、そのまま1-1での引き分け。勝ち点3を手にする事はできなかったが、豊富な運動量で連敗を10で止めることができた。これを復調のきっかけにしたい岐阜だったが、続く9/30(日)第35節・アウェイ金沢戦では、それまではペースを握っていたものの、後半にわずかな隙を突かれて失点して主導権を手放してしまう。その後は攻めるが得点を奪えず、逆に前がかりになったところでカウンターを浴び、結局は0-2で敗れた。そして10/7(日)第36節・アウェイ山口戦は、試合開始から相手の素早いプレスに押され、苦し紛れに出したバックパスが自陣ゴール前でイレギュラーバウンドしてオウンゴール。その5分後には守備網を突破されて前半で2失点してしまう。後半は戦術を変えて攻めた岐阜が1点を返すが、その直後に山口に立て続けに2点を奪われて突き放され、結局は1-4と完敗してしまった。

連敗記録は10で止まった岐阜だが、その後2連敗。つまり13試合未勝利だ。3試合で勝ち点が1しか積み上がらず、その間に連勝を果たした京都にも抜かれ、ついに順位は20位、降格圏が目前に迫っている。幸いなことに、21位・熊本も22位・讃岐も、勝ち点を積み上げられていないため、熊本との勝ち点差は6、讃岐とは7のアドバンテージがあるが、安心できるような差ではない。それは、2016年シーズンの最後にホーム3連勝を達成して最終節にJ2残留を決めた、僕らFC岐阜サポーターが一番よく分かっているはずだ。長かったはずの2018年シーズン全42試合も、残り6試合。チームが一丸となって、毎試合を最後まで必死に戦い抜いて勝利を、そして勝ち点を掴み取る。そんな覚悟が今こそ必要だ。

さて、今節の対戦相手はファジアーノ岡山。昨年は13位に終わり、大幅に選手が入れ替わって長澤徹監督体制4年目となる今年は、開幕3連勝を遂げ、一時は首位に立つなど好調な滑り出しをみせたが、徐々に成績が低迷。直近5試合は2分3敗で現在は12位に後退してしまっている。そんな岡山とはいえ、岐阜よりも順位が上、勝ち点差も16あるチームなのだから、厳しい対戦相手であることに変わりはない。

岡山とのJリーグでの通算対戦成績は、岐阜の7勝8分5敗・22得点23失点と、わずかに岐阜が勝ち越している。ところがホーム戦では2勝4分3敗10得点13失点と岐阜が負け越し。昨年のホーム戦・8/11(金)第27節では、前半早々に失点したが、終盤に追いついて1-1の引き分け。直近の対戦である4/21(土)第10節・アウェイ戦は、互いに決定機を掴むものの決めきれずに0-0での引き分けという結果に終わっている。岡山で最も注意すべき選手には、#19 仲間隼斗を挙げなくてはならないだろう。岡山は総失点が37と堅守のチームで、逆に総得点も35と岐阜よりも少ないのだが、その中でも8得点を挙げている得点源の選手だ。また、岡山は得点パターンがセットプレーから15点というのも特徴で、そのキックを任される#14 上田康太の左足から放たれる精度の高いボールには警戒が必要だ。岐阜の守備陣、特に昨年まで岡山に9年間在籍していた#3 竹田忠嗣には守備の中心となって、岡山の攻撃を跳ね返してもらいたい。また攻撃陣では、岡山県出身の#24 難波宏明のゴールや、#9 山岸祐也の2試合連続ゴールなどに期待したい。

残り6試合。チームにも、そして僕らサポーターにも、最後まで勝利を目指してひたむきに全力で戦うことを要求される最終盤の季節がやってきた。僕らもまた、最後まで諦めずに選手たちを信じて、その背中を後押しする拍手や声援を送りつづけよう。そして試合終了時には、歓喜の万歳四唱を、選手たちと分かち合おう。(ささたく)

次回HomeGame

第39節 vs. ジェフ千葉

10/28(日) 14:00

@岐阜メモリアルセンター

長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前(三菱UFJ銀行隣り)

年中無休 午後3時から営業

TEL.058-263-5201

Living in Woods

本庄工業株式会社

http://www.honjo-woodream.com/

湯麺 戸塚

店主: 戸塚 哲也

瑞穂市穂積1596-4

11:30~14:00/18:00~21:00(L.O.20:50)

お休み情報 twitter: @Tanmen_Tozuka

☆☆☆各務原店もよろしく!!☆☆☆



「いらっしゃいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。

休:月曜日

投稿募集!!

gidaidohri@gmail.com

【第34節】岐阜 1-1 東京V

●そりゃデル・ピエロは知ってますよ。でも、栄冠からは10年ぐらい経ってるし、もう引退した選手だし、そんなに……と思ってた僕の予想は見事に外れて（苦笑）、入場者は今季最多の12,045人。まあ他に要因はいろいろとあったようにも思えるけれど、こういった企画を次々と実現させているのを見ると、フロントも着実に成長していることに敬意を表します。さて、これだけお客さんも入ったのだから、あとはチームが結果を出すだけ。実際、序盤のペースはヴェルディに握られたけれど、選手たちは精力的に動いて相手の攻撃を防ぎ、徐々にペースを奪い返す。そして前半終了間際、#9山岸祐也の縦へのスルーパスを受けた#14風間宏矢が左足を振り抜いて、先制ゴール！12,000人超えているスタジアムが歓声に沸く。前半終了の笛が聞こえた時、僕は「このまま試合が終わらないかな」と思ったことを、懺悔と共に告白します（苦笑）。そして、前半の勢いを保ったまま、攻める岐阜。ところが、PA内で#7パウロのシュートが相手DFの腕に当たった（ように見えた）ので、岐阜の選手たちの動きが一瞬止まり、そのわずかな隙を突かれて、同点に追いつかれてしまう（溜息）。その後はお互いに攻めるけれどネットを揺らすことはできず、そのまま試合終了。1-1の引き分けに終わった。

うーん、この試合のヴェルディの出来なら、やはり勝ちたかった。あの失点シーンが本当に勿体ない。ただ、連敗記録を10で止めて、わずかながら勝ち点を積み上げたのも（多少は）評価したい。勝てなくて悔しい気持ちと、連敗を止めてホッとしている気持ちとが、なんだか複雑に入り交じる、そんな心境だった。（ささたく）

●え？ココで？この展開で？コレで終わりなの？この流れで笛吹くの……？いや、ウチの深い位置とはいえ、いい形でボールを奪い、ヨシッ！ココだ、ココからだ！決勝ゴールだ！……そう奮い立った瞬間だよ？そりゃ、まあ、たしかにね。示された時間は過ぎてたかもしれない。いつ止めようと主審の腹一つだけれども、しかし……。プレーが止まってからでも良くないかなあ？まあ、愚痴でしかないんだけどさ（苦笑）。試合自体はイイ雰囲気、いい流れで来てたように思う。だからこそ、アノ失点もったいなかった。ビクトルも逆を取られた格好になっちゃったし。こんなこと書くのはアレなんだけど、この東京Vなら勝ち点3取りきらなきゃ。傲慢かもしれないけど、特に出来が良かったとは見えなかったんだけどね。ホントに残念だった。

前述したけど、試合の雰囲気、スタンドのホーム感はとてよよかった。気のせいだろうか？デル・ピエロ氏効果もあっただろう。Cinema・staffの演奏も、それに合わせて自然発生したコールも素晴らしかった。コレで『パンザイ四唱！』がやれてたらなあ……。デル・ピエロ氏も「いいモノを見た！」と喜んでくれたかもしれない。ホントにたくさんの方が来てくださった。県内各地？の運動会が順延になってなければ、もっと大勢の方が来場してただろうと思うと悔しい。

とりあえず、今はようやく手にした勝ち点を喜ぼう。これからも上位ばかりが相手だけれども、やることはひとつしかない。今度こそ、次節こそ勝ち切ろう！（ぐん、）

【第35節】金沢 2-0 岐阜

●『連敗を止めたんだから、次は勝利だ！』とばかりに、アウェイ・金沢に乗り込む岐阜サポたち。台風の影響で試合が延期になった他会場もあり、また金沢にも試合後には台風がやって来るのを承知で参集するんだから、ねえ……僕のその1人でしたが（苦笑）。

試合は前節と同様、岐阜が攻撃を仕掛けるが、しかし、攻撃のテンポが前節よりも遅い。そのため、金沢の守備陣がブロックを形勢してしまい、なかなかシュートまで持ち込めない。

そして攻めあぐねてボールを回しているところでパスミスや相手のチェックに引っかかり、カウンターを受けてしまう。それでも、金沢の攻撃も精度を欠いていて、一進一退の膠着状態…だったのだけれど、グラウンダー気味のスローインを素早くゴール前に入れられると、金沢の選手をフリーにさせてしまいミドルシュートを撃たれ、ポストで跳ね返ったボールを押し込まれて失点。東京V戦で同点に追いつかれた時と同じような、なんだかフワッとした時間帯にいた岐阜の選手たちの、わずかな隙が致命傷となってしまった。その後、同点に追いつくべく岐阜の選手たちも攻めるのだけれど、やはり攻め手が遅い。そして守備ブロックをかいくぐるスピードやパワーも不足しているため、決定機にならない。そうこうしている内に、前がかりになったアディショナルタイムにカウンターで2失点目を献上してしまうのは、よくある話だ。不幸中の幸いだったのは、試合中は雨が上がっていたこと、高速道路も（大雨だったけれど）通行止めにならず無事に帰れたことだろうか。前節の東京V戦で光明が見えたと思ったのは、幻ではなかったと信じたい。（ささたく）

●まずは、開催にこぎつけてくださった金沢の関係者の方々に感謝と敬意を表したいと思います。難しい判断を迫られる中、早い決定をしていただきました。万が一、順延となった場合の負担と苦労は想像に難くありません。本当にありがとうございました。あとは、我々アウェーのサポがリスクも含めて「行くか、行かないか」を決めるだけ。すべては自己判断と自己責任。おかげさまで、1泊2日の楽しい遠征が出来ました。試合の結果を除けば、ですが（苦笑）。

それにしても、ねえ。こんなことを書くと、前述の感謝とかが台無しになるかもしれないが、この試合の金沢に勝ち点取れないってのがねえ。どうにも腑に落ちない。納得いかん。どちらかという、ウチの方がよく見えた。特に、前半はそうだった。でも、ね。そこで決めきれないところなる。そういうところかな？そして、先制されたら、いっきに闘志が落ちたように見えただけで錯覚かしらん？最後のダメ押しゴールは仕方ない。前掛かりになってるからね。長いこと勝ってないチームってのは、どうしてもこうなっちゃうのかなあ。

それでも、そこを打破するためには、やっぱり戦う気持ちが一番必要だと思う。あとは……約束事、かな？残念ながら、特効薬はない。自分を信じて、仲間を信じて、練習を信じて戦うしかないよ。そういうチームを後押しするために、下関へ向かいます！（ぐん、）

【第36節】山口 4-1 岐阜

●1シーズンに2回という、山口の下関開催。山口の運営の『岐阜県民は海の幸が好きでしょ？唐戸市場で食べるんでしょ？』という声が聞こえてきそうだ……ええ、食べましたとも（笑）。さて、国体のため改修された下関陸上競技場だが、バックスタンドは未改修で、浅中のような雰囲気。そして、芝の状態も良くなかった。そして、ボールがイレギュラーバウンドする可能性は、練習で分かってたはずだ。けれど、山口の選手たちが前線から素早く激しくプレスを掛けてくるため、岐阜の選手はバックパスを選択し、その位置が徐々に下がってくる。山口の選手はバックパスをさらに追ってくるため、#25ビクトルもゴールラインギリギリまで下がっていた。だから、あのOWNゴールはいつ起きてもおかしくなかった。それまでの、ビルドアップ時点のパスミスを搔きさらわれて簡単に失点するのと、大して変わらないと僕は思う。

そして、2失点目。自陣のファーサイドに流れた相手ボール、あるいは走り込んでくる相手選手に寄せている岐阜の選手がいなかったため、ほぼフリーでシュートを撃たれて簡単に失点。完全に山口に圧倒されて前半終了。

この状況をどう打開するのかと思っただけけれど、後半はショートパスを繋ぐことを止めて、縦へのボールを多用する攻撃、ほぼ“縦ポン”に切り替えた（ように僕には見えた）。

シンプルな“殴り合い”と言っても良い、そのサッカーで、少なくとも前半よりは山口を押し込む岐阜の攻撃陣。#9山岸祐也が1点を返して…までは良かったんだけど、山口・霜田監督の采配が岐阜の勢いを殺した。岐阜DFラインの裏を抜ける戦術・選手起用で、リプレイを見ているような攻撃パターンから2得点を奪う。岐阜の選手もオープン攻撃を続けるが、いかんせん、山口の選手にフィジカル勝負で勝てない。#7パウロがGKと1vs1になった時は、いけると思ったのだけれど……(溜息)。

これで再び連敗。13試合未勝利。直近18試合で勝ち点5。かなり危険な状況だ。だけど、最後まで信じてやり抜くしか、他に方法はない。試合後、実は山口も14試合未勝利だったと聞いた。やはり小野瀬が抜けた穴を埋めることは相当に大変だったようだが、山口はやり遂げたようだ。だったら、僕らもやるしかない。(ささたく)

●しかしね、本城だって、大きめな時計と選手名のボードがあったように記憶してるんだけどね。思い違いかな?外から見た下関陸上競技場のメインスタンドの『屋根だけは』〈4倍角〉で立派だったので、アウェー側自由席とのギャップに目が点……だったぜ。トイレも仮設だったし(苦笑)。それにしても、ね。まさか、『ムラオの悪夢、再び……』とは。どっぴりとハマってるクラブの試合で、10年の間に2回もこんなシーンを見せられるなんて……。ビクトルが諦めてからネットが揺れるまでが、途方もなく長く感じたよ。何が起こったかはわかったが、やっぱり、信じられなかったのか、山口の前目の選手達もスタンドのお客さんも、どうリアクションしていいのか、わからないようにも感じた。が、それも一瞬。スタジアムDの「ゴォォール〜!」の声に湧き上がる歓声。自分は……という、さすがに言葉に詰まって膝に手をつきかけたが、その場ですぐに櫓を飛ばしたコルリと、チャントを止めずに歌い続けた仲間突き動かされた。スゴイ精神力だったよ。感動した。

それでも、ハーフタイムを迎えた時には、「このまま、後半も試合後の予定もブッチして、宿もキャンセルして帰ろうかな?」という気持ちが一瞬よぎった。それくらい、前半の出来は酷かった。少なくとも、自分の目にはそう映った。逆に、後半になって、ようやく気持ちが見えた、というのかな。特に、山岸。ホントによく最後まで走り切ってくれたよ。ビクトルも、少なくとも2点は防いでくれた。気持ちが切れてもおかしくない失点だったのに。そんなワケで、試合後の監督のコメントには少し違和感を覚えたんだが、プロが言うんだからそうなんだろう。しかし、結局、2点差がついてから必死になっても遅いんだってことだ。攻撃のエンジンがかかったように見えたのは、前半に見せてた山口のプレス。ウチの最終ラインへのフォアチェックがなくなったから。引き気味に構えて、ウチの裏を狙う。2点目以降の失点は判で押したような、リプレイを見せられるような、福ちゃんの裏からファーへのクロス。それをフリーの選手がズドン!キビシいなあ……。あと、パウロ。頑張ってたけど、後半早い時間の1対1。アレは決めてくれ〜。東京V戦もそうだったけど、相手に当ててどうする。もったいない、ホントにもったいないよ。

幸い、降格圏2チームとの差は変わらずにすんだ。とにかく、何がなんでも勝ち点を。一点でも多くの勝ち点を。どんな形でもいい。どんなカタチでもいいんだ!残りあと6試合。まずは、岡山戦をやり切ろう!(ぐん)

【ユース】東海プリンスも佳境

●我らがFC岐阜ユースU-18(以下『FC岐阜ユース』)が参戦する東海プリンスリーグ、9月22日(土)に第14節帝京大可児高校戦、10月6日(土)に第15節名経大高蔵高校戦がありました。その内の長良川球技メドウにて行われた帝京大学可児高校戦へ観戦に行きました。試合はどちらかと言うと帝京大学可児高校のペースで始まり、前半20分に先制を

許してしまいます。ただその直後に1点返してFC岐阜ユースの応援席は俄然盛り上がりましたが、前半終了間際に追加点を奪われました。そして後半開始早々に更に追加点を奪われてしまい、選手たちの積極性が感じられなくなっていき、結局1対4で試合は終了しました。続く名経大高蔵高校との対戦は0対1で前半を折り返した後、後半に3点入れて逆転をしましたが、後半終了間際に連続して2失点を許してしまい、結果的には3対4の悔しい敗戦となってしまいました。これで第15節を終了してFC岐阜ユースは2勝0分13敗の勝点6となり、10チーム中9位のままです。そして残り3試合なので、勝点差7の8位藤枝明誠高校の上に行くには3連勝かつ藤枝明誠高校が3連敗するのが必要となります(FC岐阜ユースは得失点差が大きくマイナスしているので勝点が並ぶだけでは駄目です)。

次の第16節は高校サッカー選手権の県大会の為に少し期間が空いて11月24日(土)に長良川球技メドウにてその藤枝明誠高校との対戦となります。プリンス残留の希望を繋ぐ為にも是非吉報を待っています。

又、今年もJユース杯が開催されます。FC岐阜ユースの一回戦の対戦相手は鹿児島ユナイテッドFC U-18で、現在鹿児島県の2部リーグに参戦しているチームです。これまでFC岐阜ユースはJユース杯で勝利した事は有りません。今年こそは1回戦を突破したいですね。試合は長良川球技メドウにて本日19時にキックオフ!是非観戦に行行って下さい。頑張れよ、応援しているからな!FORZA!FC岐阜ユース!!

※試合会場・時間は変更される場合が有ります。必ずJFAやチームの公式サイトで確認して下さい。(シュナ)

10/12 時点のJ2残留闘争。

●J2残留争いをしている各チームの残りカードです。

	19位/京都	20位/岐阜	21位/熊本	22位/讃岐
37節	H徳島	H岡山	A讃岐	H熊本
38節	H新潟	A松本	A水戸	H山口
39節	A大宮	H千葉	H岡山	A甲府
※35節				H町田
40節	H愛媛	H山形	A新潟	H栃木
41節	H千葉	A水戸	A福岡	A東京V
42節	A讃岐	H福岡	H愛媛	H京都

10/12 時点のJ3順位表。

●「2019シーズンのJリーグ・クラブライセンス」が発表になり、秋田にJ2ライセンスが交付されました。

1 琉球	53p +26	53 27 残り7	★J2 昇格権利あり
2 鹿児島	45p +12	38 26 残り7	★J2 昇格権利あり

3 沼津	43p +11	31 20 残り8	
4 群馬	43p +3	26 23 残り7	★J2 昇格権利あり
5 G阪U	37p +12	41 29 残り8	
6 鳥取	36p +8	42 34 残り8	★J2 昇格権利あり
7 秋田	36p +6	29 23 残り7	★J2 昇格権利あり
8 C阪U	36p +3	33 30 残り7	

直接対決を制した琉球が鹿児島を突き放したカタチになりました。今季のJ3はリーグ構成が17チーム(奇数)のため、消化試合数に差が出ます。半季に1つ必ず発生する「アイドル(お休み)」を沼津が消化しました。鹿児島は30節に、琉球は最終節に消化する日程になっています。『岐大通』ではFC岐阜のJ2残留が決まるまで、J3情報を掲載していきます。(編集人:吉田铸造)

